

2022年度（第15回）農協に関するシンポジウム

1. 開催日時：2022年11月11日（金）13:00～17:00
2. 会場：東京農業大学世田谷キャンパス4階441教室
＋オンライン（zoom）のハイブリット形式
3. 主催団体：東京農業大学 総合研究所 農業協同組合研究部会

4. シンポジウムのテーマ

農協活動において組合員・住民の「農的価値への共感力」の源泉と事業活動成果の好循環メカニズムをいかに進化させるか

5. 開催趣旨・ねらい

本シンポジウムには3つのねらいがあります。

第1に、家族農業経営・農業法人組織・半農半Xなどの多様な農業経営は、ロシアのウクライナ侵攻による世界的な物価高騰、地球温暖化による気象変動の激化、サイバー空間と現実世界でのDXの普及、食農システムでの国消国産の動向など客観的条件の大転換に直面しています。こうした大転換に対して組合員が主人公である農協活動は、変えてはならない協同組合の特性を堅持しつつ、農協の組織・事業・経営のイノベーションを先導する必要があります。

このため、第1報告では農協活動において、「農的価値への共感力」をふまえた“多様な農業経営力”、“組合員組織力”、“事業経営機能発揮力”の新総合力発揮を展望します。

第2報告では、神奈川県秦野市農協における自治体と連携した教育研修・広報の取り組みから多様な農業者と農的暮らしを求める都市住民との「農的価値への共感力」を明らかにします。

第3報告では、茨城県水郷つくば農協による「農的価値への共感力」をふまえたネットワーク型マネジメントの取り組みからブランド農産品産地における多様な農家・農業法人への農協による支援を明らかにします。

以上の報告に続き、3名の最先端の研究者による各報告へコメントを頂きます。全体討論においては、参加者の皆様とともに農協の組合員・住民の共感力と事業活動成果の好循環メカニズムを目指して、農協活動における「多様な農業経営力」「組合員組織力」「事業経営機能発揮力」をいかにつなぐかの論議を深めたいと考えます。

6. プログラム

1) 開会

2) 開会挨拶：学長ビデオメッセージ 13:00～13:05

3) 開催のねらい 座長：白石正彦（総研農業協同組合研究部会長） 13:05～13:10

4) 基調報告

第1報告 13:10～13:40

タイトル：農協活動において、「農的価値への共感力」をふまえた“多様な農業経営力”、“組合員組織力”、“事業経営機能発揮力”の新総合力発揮を展望

報告者：白石正彦（本学名誉教授、総研農業協同組合研究部会長）・野口敬夫（本学准教授・日本協同組合学会常任理事）・菊地哲夫（本学前教授・総研農業協同組合研究部会員）・高梨子文恵（本学准教授）・原温久（本学准教授）・望月洋孝（本学准教授）

第2報告 13:40～14:20

タイトル：多様な農業者と農的暮らしを求める都市住民との「農的価値への共感力」～秦野市農協における自治体と連携した教育研修・広報の取り組みから～

報告者：代表理事組合長 宮永均（神奈川県秦野市農協）

<休憩> 14:20～14:30

第3報告 14:30～15:10

タイトル：ブランド農産品産地における多様な農家・農業法人への農協による支援～水郷つくば農協による「農的価値への共感力」をふまえたネットワーク型マネジメントの取り組みから～

報告者：代表理事組合長 池田正（茨城県水郷つくば農協）

5) コメント 15:10～15:50

- (1) 谷口信和（東京大学名誉教授）、(2) 小林元（日本協同組合連携機構(JCA)部長）
(3) 堀部篤（東京農業大学教授・農協研究部会幹事）

6) 全体討論 15:50～16:50

7) シンポ総括と閉会の挨拶：菊地哲夫（東京農業大学前教授） 16:50～17:00

7. 本シンポジウム実行委員会事務局、問い合わせ先

本シンポジウムについての問い合わせは、以下の実行委員会事務局までお願いいたします。

E-mail: 菊地哲夫：kumatata6584@yahoo.co.jp（cc: 白石正彦：shirais@nodai.ac.jp）

8. 本シンポジウムへの参加申込先

シンポの参加につきましては、下記 URL (Forms) からお申込みください。

<https://forms.office.com/r/pXmXFNpQUB> 申込締切日：10月31日（月）17:00

* ご参加者される方には、ZOOMのURL、報告資料の情報を開催数日前にご連絡致します。

以上